

天井落下防止対策の検討に当たっての留意点

1. 対策の目標

- ・安全 危害を及ぼさない
- ・避難場所としての期待に応える
- ・安心 不安なくいられる

2. 対策のケース

- ・新築・改築時の設計対策－設計法
- ・既存施設の点検・対策－点検・対処法

3. 対応方法

- ・落ちないようにする 構造、構・工法
- ・落ちても安全ようにする
- ・落ちるものをなくす（複合屋根材の開発）

4. 学校の体育館

- ・戦前は講堂を雨天体操場とする。
- ・戦後は屋内運動場にステージを設置し、儀式、発表等にも使えるようにする。

5. 体育館の機能

- ・学校活動－平常時
 - 体育の授業－ウォーミングアップ
 - 行事：儀式－寒い時期、文化祭等－暑い時期
 - 表現活動、発表
- ・地域利用－平常時
 - 夜間、休日の運動 省エネルギー化
- ・地域利用－災害時
 - 避難施設としての屋内環境－弱者

6. 体育館に求められる性能

- ・断熱性
- ・吸音・遮音性－声が聞こえない、雨音がうるさい
- *地域性への配慮

7. 学校施設整備の課題

- ・ゼロエネルギー化や室内環境の維持に断熱は不可欠。

8. 学校施設の大空間－対策が必要な施設

- ・体育館、屋内プール、武道場
- ・講堂、多目的ホール、ランチルーム、エントランスホール
- ・音楽室、図書室

*落下の原因究明は難しいが、落ちないようにする工法はある。

JACCA(日本耐震天井施工協同組合)施工要領等



高梁市立旧吹屋小学校講堂